

江別市公共交通検討会議

報告書

～みんなでつくり育てるバス交通の実現にむけて～

平成26年3月

江別市公共交通検討会議

1 はじめに

江別市においては、少子高齢化の進展とともに人口減少が進む中で、公共交通においても利用者の減少など、公共交通を取り巻く環境は大きく変化しており、公共交通機関における採算性の問題や高齢者等の移動手段の確保などが課題となっております。

現在、江別市民の5人に1人が高齢者ですが、今後とも高齢者が増加していくことにより、公共交通の必要性はさらに高まるものと考えられます。

このような中、江別市におけるより良い公共交通の実現に向けて、今後の公共交通の中でも特に課題の多いバス交通を主に、そのあり方等について検討するため、平成24年7月に市民、学識経験者、交通事業者、各種団体等で構成する江別市公共交通検討会議が設置され、今後の方向性や改善策について検討を行ってきたところであります。

本検討会議では、2年間にわたる検討を重ねた中で、バス交通の課題や改善に向けた様々なご意見をいただいたほか、市民への公共交通に関するアンケート調査結果や改善策の事例等を参考に、今後の取り組むべき方向性や改善策について検討したところであります。

本報告書は、これまでの検討結果を取りまとめたものでありますが、江別市における今後のより良い公共交通の実現に向けた取り組みの一助となるよう期待するものであります。

平成26年3月

江別市公共交通検討会議

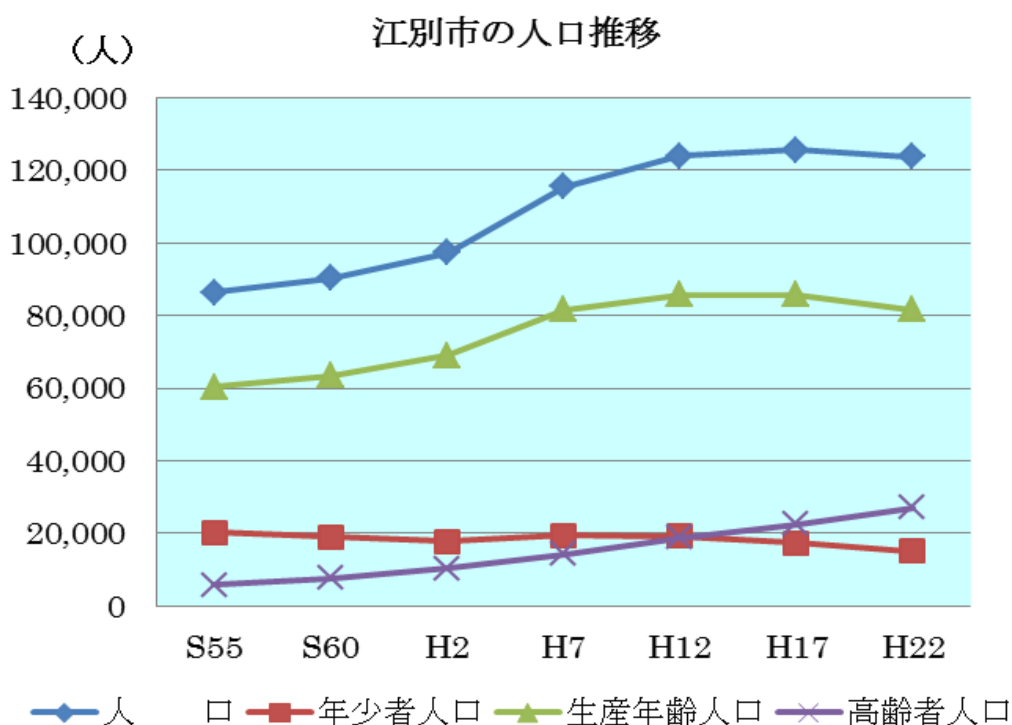
会 長	高野 伸栄	北海道大学大学院公共政策学連携研究部准教授
副会長	辻 富美子	江別消費者協会会長
委 員	遠藤 雄一	北海道情報大学経営情報学部講師
委 員	古川 明男	ジェイ・アール北海道バス(株)取締役営業部長
委 員	原口 嘉樹	北海道中央バス(株)江別営業所長
委 員	井筒 國雄	夕張鉄道(株)野幌営業所長
委 員	下段 英樹	(有)下段モータース取締役総務部長
委 員	工藤 正弘	北海道運輸局札幌運輸支局首席運輸企画専門官
委 員	三上 始	江別市自治会連絡協議会副会長
委 員	工藤 祐三	江別市自治会連絡協議会理事
委 員	樋口 四郎	江別市自治会連絡協議会理事
委 員	北口 彰	江別市社会福祉協議会事務局長
委 員	阿部 実	江別市高齢者クラブ連合会副会長
委 員	川股 学	市民公募
委 員	渋谷 真澄	市民公募
委 員	白坂 博	市民公募
委 員	神保 順子	市民公募

2 現 状

(1) 人 口

江別市においては、平成17年をピークに人口が減少するとともに、少子高齢化が進んでおります。

65歳以上の人口に占める割合は、平成26年3月1日現在25.5%で、年々増加する傾向にあり、平成35年には、35%を上回るものと見込まれる一方で、14歳以下の年少者人口や15歳から64歳までの生産年齢人口は、減少するものと予想されます。



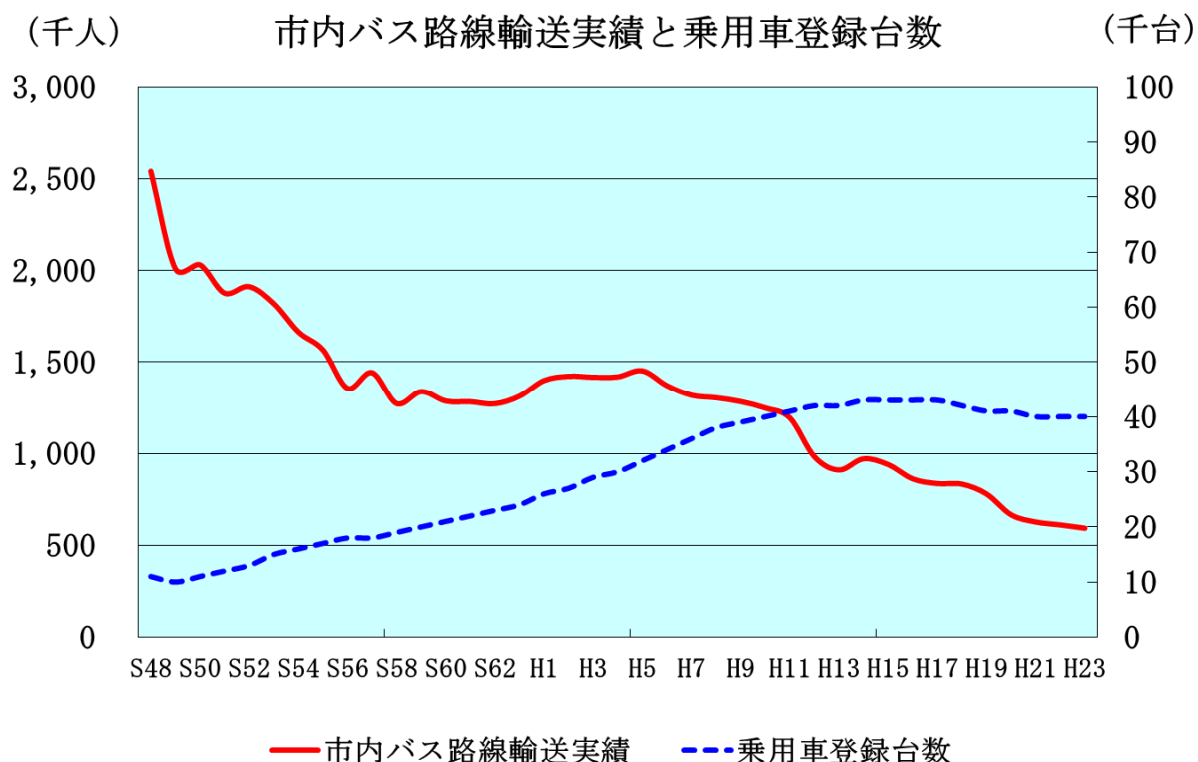
(2) バス利用者の減少

道路のインフラ整備とともに、モータリゼーションが進展するなど、路線バスの利用者は、年々減少傾向にあります。

江別市においては、市内線のバスの年間延べ利用者数は、ピーク時の2,541千人（昭和48年度）から、593千人（平成23年度）まで減り、路線の廃止や減便などにつながる厳しい状況にあります。

このようなバス交通の衰退により、さらなる利用者の減少を招き、路線の縮小など悪循環を生じさせています。

このような中、江別市では、市内赤字バス路線に対する補助を行っているほか、国や北海道と同様に、市町村をまたぐ当別町との赤字バス路線に対しても補助を行うなど、既存バス路線の維持を図っています。



3 課 題

(1) 本検討会議における主な意見

交通アクセス

- 病院へ行くのにバスの乗り換えですごく時間がかかる。
- 野幌駅前から市立病院へ行きにくい。
- 行きたい場所に近いバス停がわかりにくい。
- まちの中心部にいるのに行きたい所に行けない。
- 日中時間帯の本数が少ない。
- 必要な時に必要な本数がほしい。
- 駅南北間の移動が容易にできない。
- 駅周辺のバス乗り場が分散している。

交通不便地域

- 大麻の国道と2番通の間、豊幌地区にはバスがない。

事業運営

- 採算性の確保

その他

- 日中のバス利用者は閑散
- 高齢化が進んで車を持ってなくなり買物難民が出てくる可能性がある。
- 運行状況に関する情報が得にくい。

(2) 公共交通に関するアンケート調査結果

平成25年3月に市が行った公共交通に関するアンケート調査結果によると、バス交通の主な課題として、運行便数、乗り継ぎ、情報提供の3つが重点項目として挙げられ、改善に向けて重点的に取り組む必要があります。

全市的には、駅を中心とした交通体系が定着しており、乗り継ぎ性の向上など駅周辺部における交通機能の向上を図るとともに、運行情報等の情報提供を進めることが必要と考えられます。

4 今後の取り組むべき方向性

バス交通による移動手段の確保は必要不可欠であり、江別市が目標としている持続可能なまちづくりにおいても必要な交通機能であるとの共通認識のもと、市民の身近な移動手段として、バス交通を今後とも維持し、さらには充実させていくため、本検討会議では、3つの取り組むべき方向性を示すに至りました。

なお、それぞれの取り組みにおける基本には、公共交通施策が、市民の「暮らしぶり」に係る交通行動の集積であり、これまでの「バス交通サービス提供者」と「利用者」という関係から、行政のみならず地域が積極的に関与することにより、地域が自らの足を守る姿勢が不可欠であるとの考えのもと、それぞれの役割に応じた協働による取り組みが有効であるものと考えます。

また、市民が意見を発信する場を設けるとともに、公共交通施策に市民の声を活かしていく仕組みづくりが重要と考えます。

(1) バス交通の利用促進

今後さらなる少子高齢化や人口減少により、バス交通の利用者の減少は、喫緊の課題となっているが、高齢者人口の増加により利用ニーズは高まるものと考えられ、バスを利用しやすい環境づくりを進めるなど利用促進を図る必要がある。このため、バス事業者や関係団体等との連携、協力を図り、バス交通の利用促進の展開を進める。

(2) 情報提供の推進

バスに関する路線図や時刻表等の一般的な情報だけでは、バス利用に十分に活かされていないことから、情報提供の仕方を改善するなど、バス利用者にはわかりやすい情報提供を進める。

(3) 交通機能の向上

全市的には、駅を中心とした交通体系が定着しており、乗り継ぎ性や南北間交通の向上など、駅周辺部における交通機能の向上とともに、バス停の環境整備等に向けた検討を進める。

5 本検討会議で出された改善案

本検討会議では、以下の改善案が出されました。

これら改善案の実現のためには、さらに具体的な検討が必要となりますが、早期に取り組みが可能なものや効果が期待されるものについては、関係機関などの協力のもと、重点的に検討を行うなど具体化に向けた取り組みを進めるべきものと考えます。

(1) 公共交通の利用促進に関すること

- 小学生を対象とした学校モビリティ・マネジメントの実施
 - 市役所窓口等における転入者モビリティ・マネジメントの実施
 - 高齢者を対象とした高齢者モビリティ・マネジメントの実施
 - バス利用に関する説明会や出前講座などの実施
- バスの利用方法、時刻表の見方、目的地への行き方、I Cカード利用など

※モビリティ・マネジメント

ひとり一人のモビリティ（移動）が、社会的にも個人的にも望ましい方向に自発的に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策。

(2) 情報提供の推進に関すること

- ホームページ等による情報提供の検討
 - バスマップの改善
 - 広報紙やホームページ等による効果的な広報
 - 既存コンテンツを活用した情報提供
 - バス停の集約とバス停名称の統一（ゆらぎ解消）
 - 交通結節点等における案内看板等の充実
 - 統合時刻表の作成
 - バス利用に関する説明会や出前講座などの実施
- バスの利用方法、時刻表の見方、目的地への行き方、I Cカード利用など

(3) 交通機能の向上に関すること

- J Rとの乗り継ぎ向上に向けたバスダイヤの見直し
- バス路線の見直しを見据えた、実証運行に向けた追加調査の実施
- パークアンドバスライドの検討
- 野幌P Aのバス停を活用した高速バスの利活用
- 協働によるバス停の除雪等、安全性の確保や環境整備
- バス路線の重点的な除排雪
- 江別駅周辺の活性化策の中でバス乗り場の改善を検討
- 循環バスの整備

- 駅まで短時間で行ける路線の整備
- 野幌駅南北間の移動が容易にできるバス路線の整備
- 1日乗車券等の利用しやすいバス料金体系

※パークアンドバスライド

自家用車で直接目的地に向かうのではなく、駐車場に駐車させ、そこからバスに乗り換えて目的地に到達させるシステム。

6 経 過

(1) 平成24年度会議開催状況

第1回 平成24年 7月25日

- 委嘱状の交付
- 会長及び副会長の選出
- バス交通の現状について
- 交通調査について 等

第2回 平成24年 8月30日

- バス交通の現状について
- 先進地事例について
- アンケート調査の対象について 等

第3回 平成24年10月29日

- 交通調査について 等

第4回 平成25年 3月28日

- 交通調査について

(2) 平成25年度会議開催状況

第1回 平成25年 4月26日

- 交通調査について

第2回 平成25年11月19日

- 今後の方向性と改善策について

第3回 平成26年 2月26日

- 今後の方向性と改善策について
- 今後の取り組みについて

第4回 平成26年 3月26日

- 検討結果報告書（案）について

(3) 公共交通に関するアンケート調査

- 実施期間 平成25年3月1日～15日
- 対象者 江別市民
- 配布数 4,725件
- 回答数 1,844件
- 回答率 39.0%

7 参考資料

- (1) 江別市の公共交通の今後の方向性と改善策について
- (2) 江別市における公共交通に関するアンケート調査について
- (3) 江別市公共交通検討会議設置要綱